特集3

伝えたい！「ウール」の魅力

「ウールのもつ優れた特性を、世界に伝えよう！」チャールズ英皇太子の提唱で、昨年、イギリスから始まったキャンペーンが、今秋、日本でもスタート。多くの企業・小売店による趣向を凝らしたイベントなどが開催されます。このキャンペーンに参加する「ファイン・グレード・ウールクラブ」と「ベストウールクラブ」は、日本で羊毛寝具の品質向上に務めるグループです。今回はそれぞれの取り組みを紹介します。

チャールズ英皇太子提唱の「キャンペーン・フォー・ウール」が日本でも！

グリーンウールマーク

THE CAMPAIGN FOR WOOL

グリーンシープ

キャンペーンは、5カ年計画のプロジェクト。イギリスを起点に、オーストラリア、ニュージーランド、アメリカ、日本、ヨーロッパ諸国などの世界主要都市で繰り広げられます。キャンペーンに参加する企業や小売店は、右の「グリーンシープ」と「グリーンウールマーク」のロゴを使用することができます（羊毛混率が51%以上であることが条件）。

2010年10月、キャンペーン・キック・オフのイベントとして、ロンドンの通りの一角に、35頭の羊とウールのスーツを着用した羊飼いが登場。日本でも10月3日、駐日英国大使公邸（東京・千代田区）で再現される予定です。百貨店などでもさまざまなイベントなどが計画されていますので、乞うご期待！

ファイン・グレード・ウールクラブ

●徹底的に品質にこだわって開発された「ファイン・グレード・ウール」

私たちがよく目にする「ウールマーク」は、AWI（オーストラリアン・ウール・イノベーション）／ザ・ウールマーク・カンパニーが定める品質基準に合格した製品だけが使用できる、世界共通のマークです。そのAWI／ザ・ウールマーク・カンパニーと優秀なウールマークライセンシー（国内7社／海外3社）、公的試験機関が参加し、「本来あるべき羊毛ふとん」を目指して活動するグループが、ファイン・グレード・ウールクラブです。

同クラブが開発した「ファイン・グレード・ウール」は、清潔で快適な、高品質羊毛ふとんわたであり、「ファイン・グレード・ウールマーク」をつけて、その品質を証明しています。原料や加工に関する品質基準の厳しさはもとより、海外の洗毛工場までさかのぼって原料の管理ができるトレーサビリティや定期的に行う厳密な品質チェックなど、徹底した管理体制が信頼の証。ワンランク上の高品質ウールとして注目される理由が、ここにあります。

ファイン・グレード・ウールマーク

安心、高品質の証。下げ札には連番が印刷され、厳密に管理されています。

ファイン・グレード・ウールクラブHP
http://finegrade.jp/

ファイン・グレード・ウール羊毛ふとん

不快なニオイがなく、清潔で快適な高品質羊毛ふとん。心地よい眠りを誘います。
※本商品は、本誌プレゼントコーナー（p23）に登場しています。併せてご覧ください。

問い合わせ先
●長尾商事株式会社
TEL.052-203-5100

●原毛を丁寧に洗浄することでニオイの問題を解決

「ニオイ」は羊毛ふとんに多いクレームですが、同クラブのメンバー企業から、「ファイン・グレード・ウールを採用したところ、ニオイのクレームがなくなった」という報告があったそうです。

そもそも、ウールの不快なニオイは、羊の毛に付いた油脂分や排泄物などの汚れが十分に洗浄されていないことが原因。牧場で刈り取られた原毛は洗毛工場に運ばれ、洗剤とお湯で洗浄されます。従来の洗浄方法では、清浄度（原毛を洗った廃液の透視度）は100～150㎜程度でしたが、ファイン・グレード・ウールは、丁寧に洗浄することで、清浄度500㎜以上を確保することに成功しています。これにより、気になるニオイ問題を解決することができました。

また、圧縮弾性にも厳しい基準を設けているので、一般的なウールに比べて弾力性があり、かさ高に優れていることも特長です。「豊かな自然環境の中でゆったりと健康的に飼育された羊たちのウールをふんだんに使用し、きっちり品質管理する。それが私たちのウールなのです」と同クラブ。現状に甘んじることなく、今後もさらに品質を追求していくそうです。

ウールマーク

WOOLMARK

信頼できる高品質の目印。紡績の落毛（ノイル）では繊維が短く、ウール本来の優れた特性が発揮できないことから、新毛であることが絶対条件。新毛の混率によって、ウールマーク（99.7%以上）、ウールマークブレンド（50%以上）、ウールブレンド（30～50%）の3種類があります。

ベストウールクラブ

●「レーヌマーク」の必須条件はフランス産の厳選素材とスチーム・ドライ加工

1985年、国内の優秀な羊毛ふとんメーカー8社によって結成されたベストウールクラブ（現在は正会員7社・賛助会員3社）。同クラブの特徴は、「スチーム・ドライ加工」を取り入れていることです。

ふとんを作る課程で、ウールの繊維はさまざまな機械を通る間に引っ張られてしまい、ウールのもつ縮れ（クリンプ）が伸びてしまいます。しかし、ウールに高温のスチームを当て、急速乾燥させる「スチーム・ドライ加工」を行うことにより、クリンプを回復させることができるのです。これによって、かさ高性が高まり、羊毛本来の弾力性や保温性、吸・放湿性などの長所を十分に引き出すことができます。

2005年、同クラブはフランス羊毛協会と業務提携をして品質を証明「レーヌマーク」をスタートさせました。レーヌとは、フランス語でウールという意味です。フランス産ウールは軽くてコシがあり、クリンプが豊富という寝具に最適な素材として知られていますが、その中でもとくにフランス羊毛協会が認定した「バージンウール100%」の原料を使用することと「スチーム・ドライ加工」が「レーヌマーク」の主な必須条件。しかも、トレーサビリティのシステムによって、厳しく管理されています。

●快適、安心、環境にやさしい「レーヌ・ブレンド・エコ®」

一方、羊毛混ふとんのわたは、ほとんどがウール50%、ポリエステル50%ですが、ブレンドわたに関する明確な品質基準がないため、粗悪品が多く出回っています。そこで、同クラブは2010年3月、「レーヌマーク」の精神を受け継いだブレンドわた「レーヌ・ブレンド・エコ®」を発表しました。

これは、フランス産バージンウール100%の羊毛と、回収されたペットボトルから生まれた帝人ファイバー（株）のリサイクルポリエステル繊維『ECOPET®』（エコペット）をブレンドし、「スチーム・ドライ加工」によって仕上げた、ふっくら、清潔なふとんわたです。

品質の良さだけでなく、時代が求めるエコロジー志向に対応した羊毛混わたの登場に、環境を重視する消費者からの関心が高まりつつあります。

同クラブは「さらにメンバー企業同士の結束を強め、今後も高品質な羊毛ふとんの提供を目指していきたい」と語っています。

レーヌマーク

アルプスの厳しい自然環境の中で育つ羊の毛は、理想的な寝具素材。「レーヌマーク」の品質基準は、スタンダードとプレミアムの2種類があります。

レーヌ・ブレンド・エコ®

「エコペット」を使用することで、石油を原料とする場合と比較すると、CO2排出量で47%、エネルギー消費量で33%の削減効果があります。

ベストウールクラブHP
http://www.bestwool.jp/

「レーヌマーク」付きの羊毛ふとん

ウールの特性が十分発揮されるため、ふっくらとして、夏涼しく冬暖かい、快適な寝具です。

※商品については、百貨店、専門店にお問い合わせください。

ウールは人にも地球にもやさしい天然繊維

ウールは自然の恵みそのもの。だからこそ、人にも環境にもやさしいたくさんの特性をもっているのです。ウールの主な特長を紹介しましょう。

●ふかふかした弾力性

ウールの繊維を引っぱると元の長さより30%も伸び、手を離すと元に戻ります。この特性が、羊毛ふとんのふかふかの秘密です。

●冬暖かく、夏涼しい

ウールは、1本1本の繊維がくるくると縮れています（クリンプ）。この縮れのおかげで、羊毛わたは中にたくさんの空気を含みます。空気は断熱性がとても高い物質なので、外気の温度が中に伝わらないように遮断するのです。

●ムレないから、さわやか

ウールは、湿気を吸収するとともに放出する性質をもっています。ウールの吸湿性は、合成繊維の約40倍、綿の2倍近くと、繊維の中でも抜群。汗をかいてもムレたりジメジメしないので、羊毛ふとんはいつもさらさら。

●汗冷えしないので健康的

繊維は湿気を吸着すると「吸着熱」を発生します。なかでもウールは抜群の吸着熱を生み出す繊維。だから、羊毛ふとんは睡眠中の汗を素早く吸い取り、さらに発熱して体を冷さない健康的な寝具なのです。

●汚れにくくクリーン

ウールの繊維は薄い膜で覆われているため撥水性があり、汚れにくいのが特長です。また、静電気が起きにくいので、チリやホコリを寄せつけません。

●燃えにくい安全な繊維

燃えにくさは意外に知られていない特長でしょう。合繊のように熱によって溶解しないので、火傷の危険も少なくなります。また、燃えても煙の発生が少なく、有毒ガスもほとんど出ないので、寝具に最適な安全繊維です。

●地球環境にやさしい

ウールはタンパク質で構成されているので、完全に土に戻ります。この特性を生かして、ザ・ウールマーク・カンパニーの提唱により「ウール・エコサイクル・プロジェクト」という取り組みが行われています。不要となったウールの衣料品や寝具が緑化促進資材などの産業資材として再生し、利用後は土に戻り、その土から芽生えた牧草によって羊が育つというサイクルが繰り返されます。

＊　＊　＊

人と地球が共栄共存できる持続可能なライフスタイル＝ロハス志向の人々が増えるなか、健康的で環境にやさしいウールは要注目の寝具素材です。ウール製品を愛用することがナチュラルな暮らしにつながる。そんな視点で、ウールを見直してみませんか？